

手塚治虫生誕80周年記念

1928 ∞ 2008

ミュージカル

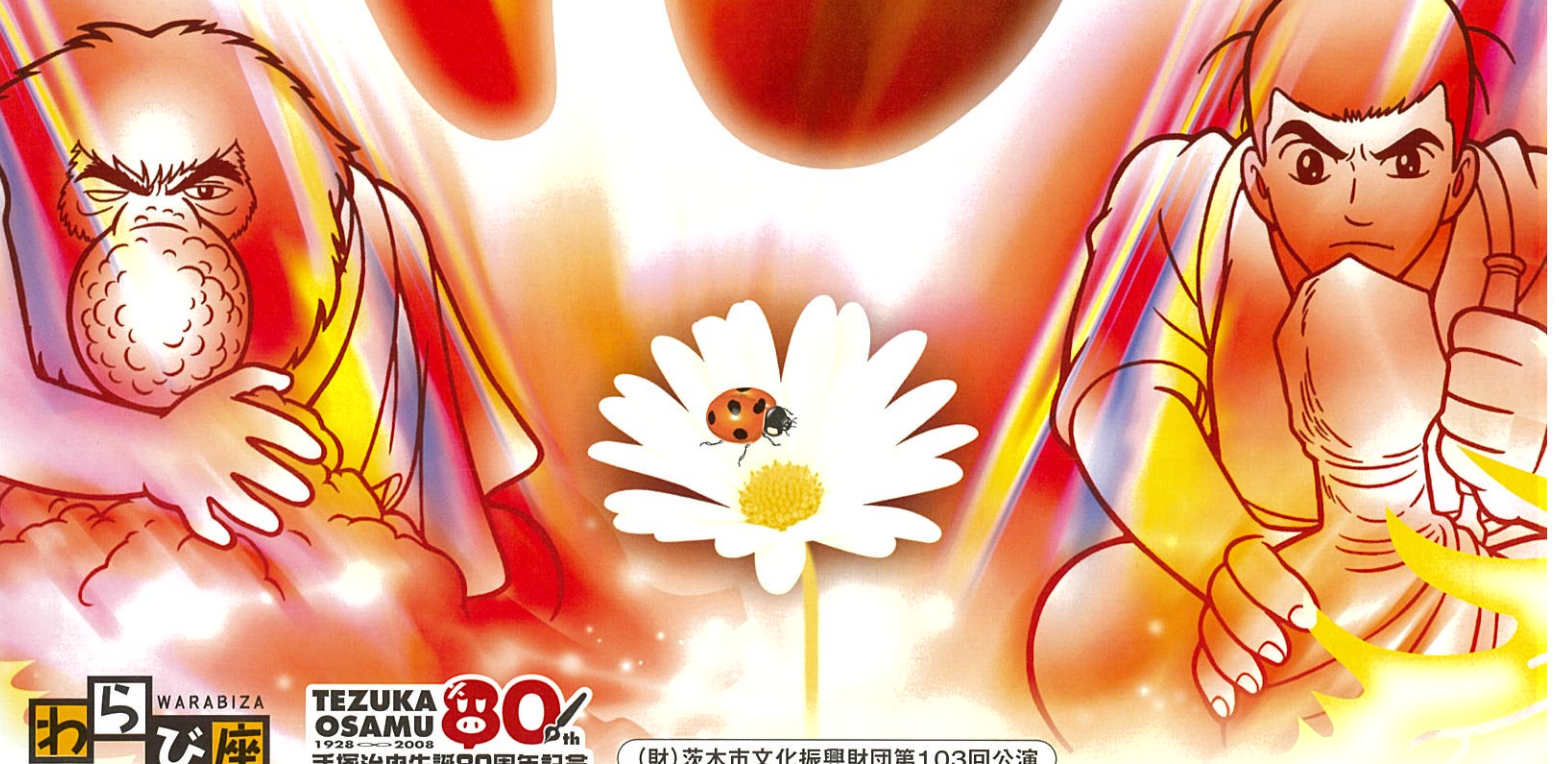
火の鳥

鳳凰編

©手塚プロダクション

生と死と輝きの物語

原作◎手塚治虫
演出◎栗山民也
脚本◎齋藤雅文
音楽◎甲斐正人
美術◎妹尾河童
◎協賛／手塚プロダクション・角川書店



わらび座 WARABIZA

TEZUKA OSAMU 80th 1928-2008 手塚治虫生誕80周年記念

(財)茨木市文化振興財団第103回公演

2009.7/12 [日] 15:00開演 (14:30開場)

茨木市市民会館 ユーアイホール・大ホール 茨木市駅前四丁目7番50号 TEL072-623-3962 阪急茨木市駅から西へ、JR茨木駅から東へ徒歩10分

【全席指定・1階席のみの販売】3,500円 / 65歳以上、障害者及びその介助者 3,000円 / 青少年(24歳以下) 1,000円 *4月10日(金)発売

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKA メセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは文化振興財団のみです) *就学前のお子様の入場は遠慮ください
◆チケットのお申込み・お問い合わせ：(財)茨木市文化振興財団事業係 072-625-3055 (9:00～17:00 茨木市市民会館ユーアイホール1階)
◆販売所：ユーアイホール 072-623-3962 / JA茨木市本所 072-627-7762 (総務課) / 朝日野村北摂販売網 072-643-8424 / (5月1日からクリエイトセンター 072-624-1726) / ローソンチケット 0570-000-777 / ローソンチケットLコード予約 0570-084-005 (Lコード 54401) / 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 393-533) *ぴあは割引なし
◆主催：(財)茨木市文化振興財団 ◆後援：茨木商工会議所

手塚治虫生誕80周年記念

1928 ∞ 2008

ミュージカル
火の鳥
鳳凰編

©手塚プロダクション

原作◎手塚治虫

演出◎栗山民也 脚本◎齋藤雅文 音楽◎甲斐正人 美術◎妹尾河童 衣裳◎樋口藍 照明◎勝柴次朗

舞台は奈良時代と呼ばれた8世紀の日本。

隻眼隻腕の盗賊・我王は、命を助けられた高僧・良弁上人と諸国を巡るうちに、病や死に苦しむ人々の姿に出会い、眠っていた彫刻家としての才能を開花させました。一方、若き日の我王に利き腕を傷つけられた仏師・茜丸は、精進の末にリハビリに成功して、名声を高め、奈良・東大寺の大仏建立のプロデューサーにまで出世しました。茜丸のパトロンとなった時の権力者橘諸兄は、大仏殿の鬼瓦の製作を、茜丸と我王に競わせることに決め、ふたりはライバルとして運命の再会をします。しかし、勝負に敗れそうになった茜丸は、我王の旧悪を暴露して、我王の残っていた右腕を切り落とさせてしまいました。(原作より)

演出／栗山民也

ずっと前のことになるが、『火の鳥』の黎明編と未来編を一幕、二幕として構成した一つの音楽劇を舞台化したことがある。遠い過去とこれからの未来を往還しつつ、現在を浮かび上がらせるという試みだった。それ以来「手塚ワールド」にまんまとハマってしまったのか、シャカ族の王子シッタールタを描いた長編『ブッダ』も続けて手掛けた。しかしそのいずれの時も、手塚さんの願う永遠の問いかけがいつも彼方に高くそびえ立ち、必死に手を伸ばしたつもりだったが、いくつか苦い思いが残った。

今回、わらび座の皆さんとともに、その生命の連鎖を執拗に描いた『火の鳥』全編を象徴する物語「鳳凰編」へと、さらなる高みを求めて大きくジャンプしてみようと思う。

脚本／齋藤雅文

今だからこそ「火の鳥」を

人は死んだからといって「命」が終わるわけではない。そして、そう都合よくまた人間に生まれ変わりもしない。だから、生きよう。精一杯、悪あがきしても、生きよう! …手塚治虫は「火の鳥」でそう語りかけているように思えます。

「命」は、永遠のもの。自分一人で終わるわけではないのだから、と。

「火の鳥」は、手塚治虫が、我々の未来に託した、究極のメッセージです。

◆チケットのお申込み・お問合せ：(財) 茨木市文化振興財団事業係 072-625-3055 (9:00～17:00 茨木市市民会館ユアアイホール1階)
*発売初日から電話予約もお受けしますがお席はお選びいただけません。*予約後は、1週間以内に財団窓口でご精算ください。*予約チケットの郵送をご希望の場合は、<チケット料金+郵送料400円>を、郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払ください。払込手数料はご負担願います。払込確認後の郵送となります。<振替口座>00970-7-190576 / 加入者名：財団法人茨木市文化振興財団